

札幌市 IoT イノベーション推進コンソーシアム ICT 活用普及促進部会
平成 30 年度 第 1 回 定例部会
先端技術が加速する経営のイノベーション 実施報告 (抄)

開催日：2018 年 6 月 25 日 (月) 13:30~16:15

場 所：札幌市産業振興センター 産業振興棟 2 階 セミナールーム A

主 催：一般財団法人さっぽろ産業振興財団

共 催：札幌市 IoT イノベーション推進コンソーシアム

後 援：札幌市、特定非営利活動法人 IT コーディネータ協会、北海道 IT コーディネータ協議会

参加者：62 社 73 名

プログラムと内容概略 (以下、敬称略)

1 主催者挨拶



一般財団法人さっぽろ産業振興財団 情報産業振興部長
酒巻 季彦

2 【基調講演】「先進事例に学ぶ、IoT×AI で創発するビジネスイノベーション」



日経 BP 社 日経 BP 総研 フェロー 桔梗原 富夫

- 進展する第 4 次産業革命
 - ・第 3 次産業革命の次は IoT 産業革命
 - IoT や AI が産業を牽引していく「考える工場」へ
 - ・各分野で xTECH(クロステック)が加速
 - 業界を横断した産業の進化
- 身近になった IoT
 - ・スマートデバイスの普及やセンサーの多様化
 - 技術の進展によって IoT 環境が容易に実現へ
 - ・ネットワーク環境のコスト低下
 - 導入がしやすく普及環境の促進に繋がっている

- ・アイデアとしてあったものを実現可能に
 - 身近な業務課題の解決・改善に繋げられる
- ・ウェアラブルセンサーの導入事例
 - バイタルサインの確認により、潜在リスクのリスクヘッジが可能に
- ・大がかりな装置に頼らない、身近なデータ収集への利用
 - 手作り IoT で製造ラインを「カイゼン」した例もあり、工夫次第で環境は構築できる

○IoT がビジネスモデルを変える

- ・商品販売からソリューション提供へ
 - 売りきりから IT を活用したサービス事業に領域を広げる
 - ソリューションプロバイダへの転換が求められる
- ・デジタルツインで行う最適化
 - 物理的な世界をデジタルで再現し、シミュレーションを行うことで収益の効率化を図ることができる
 - ビジネスの領域拡大に寄与
- ・デジタル技術の指数関数的進化は業務携帯の変革に向けた機会である

○AI はブームから本物に

- ・深層学習の醸成により、AI が格段に「使えるモノ」に
- ・ディープラーニングなどのアルゴリズムの進化、ビッグデータ、コンピュータの高度化
 - 人工知能がより進化し、身近な環境が整ってきている
- ・AI スピーカーの登場
 - 自然言語の理解が進化し、AI が日常生活領域に進出した例である
- ・人事採用に AI を採用
 - 自社とマッチングする人物を過去のエントリーシートから読み取ることで、適材人物を選任できる
- ・深層学習技術の利用で、ベテラン作業員の運転技術を再現へ
 - 属人化を防ぎ、人手不足を補うことを目指している
- ・人の代替へ
 - AI とロボットが今後人間の労働領域の約 49%代替できると予測されている

○デジタルの力でイノベーションを

- ・イノベーションを改めて考える
 - イノベーションの源泉とは知の探索を進め、知の深化を進めること
- ・知の探索を進めるには
 - 新たな領域を取り込み、マーケティングを広げる挑戦が必要である
- ・オープンイノベーションの推進
 - コンソーシアムの設立で、技術の標準化や普及環境の整備を行う
- ・デジタル思考を採用する企業の急増
 - ビジネス思考から、利用者中心に転換することで、「新しいコトを起こす」を実現へ

○技術進歩の影響を社会が受けるようになった。デジタルでイノベーションを起こすには、オープンイノベーションやデジタルシンキングが鍵となる。

3 講演「札幌市 IoT イノベーション推進コンソーシアムについて」



札幌市経済観光局 国際経済戦略室 IT・クリエイティブ産業担当課
IT 産業担当係長 吉田 泰斗

○札幌市 IT の現状

- ・IT産業はテクノパークの設立以降、札幌市として力を入れている基幹産業の一つ
- ・技術トレンドも日々変化し、それに対応した環境も必要に

○札幌市 IoT 推進コンソーシアム(平成 28 年 8 月設立)

- ・地域の力を結集させたイノベーションの創出
- ・先端技術を活用した新ビジネス創出を目指す

○活動内容

- ・ICT 活用普及促進、先導的プロジェクト推進、フィンテック研究、AI 研究の 4 部会にて活動

○Sapporo AI Lab(AI 研究部会の活動組織)

- ・2017 年 6 月 1 日発足、AI の社会実装について世界をリードする都市を目指す
 - AI 関連技術を活用した新ビジネスの創出
 - AI 関連企業の集積と起業を促進
- ・AI 関連人材の確保・育成
 - AI 勉強会の実施など、先端技術に関する人材育成を支援
 - AI 人材育成スキームの拡充

○プロジェクトの創出・推進

- ・札幌市コールセンターデータを活用した AI 自動応答システム構築実証実験
 - 自然言語解析に関する AI のアルゴリズムを ICT 活用プラットフォームで公開
 - 札幌市における AI 活用活性化への呼び水としたい
 - 成果の共有と地場エンジニアの交流に一役買うことができた
- ・AI 俳句(AI 一茶くん)の取り組み
 - 人の感性に依った部分(俳句を詠む)に挑戦した取り組みの一つ、感性を AI で再現
- ・円山動物園での AI を活用した実証
 - チンパンジーの画像を個体識別することで、動物福祉(健康管理)に応用を目指す

○当面の基本事業

- ・情報発信・普及活動:AI 活用ビジネス事例の収集、イベント出展、SNS による情報発信
- ・IT産業と他産業との連携によるプロジェクトメイクを促進
 - プロジェクトは、大企業、地場 IT 企業、ユーザー企業、大学・研究機関等の産学官連携によるものが目標

4 講演「新技術等実証制度（プロジェクト型サンドボックス）」について



経済産業省 経済産業政策局 産業構造課 新規事業開拓制度推進室
橋詰 拓幸

○各規制改革スキームの関係

- ・新規事業立ち上げに当たり、法令規制がある
- ・グレーゾーン解消制度
 - 新事業が規制に抵触するか否か確認したい場合に利用できる制度
- ・新事業特例制度
 - 新事業が規制に抵触するが、規制の特例措置を講じて事業化したい場合に利用できる制度
- ・新技術等実証制度
 - 法規制により実証をためらっている事業を規制の枠を越えて実証実験をする制度
 - 「まずやってみる」を支援するため、期間や参加者を制限し、実証環境を支援する

○プロジェクト型「規制のサンドボックス」の概要

申請書への記載事項

- ・実証内容
 - 新技術又は手法など(特定の事業分野において新規性がある技術やビジネスモデルであればよい)
- ・参加者の範囲を限定する
- ・参加者の同意の取得方法
 - 実証計画の認定証を提示し実証への参加同意を取得する
- ・実証の期間・場所を限定する
- ・実証に関する規制法令の洗い出し
- ・実証に必要な規制の特例措置の内容
 - 実証を行う際に、必要であれば規制の特例措置を設けることも可能
- ・実証を適切に実施するための措置を行う
 - 関係者以外が入れないようにフェンスを設ける等

5 講演 「ICT 活用普及促進部会に関して／事業概要と目的、予定している活動など」



札幌市IoTイノベーション推進コンソーシアム ICT 活用普及促進部会 世話人
札幌学院大学 客員教授/ ITコーディネータ 赤羽 幸雄

○札幌市の IT 普及の取り組みについて

- ・札幌市イノベーション研究会から札幌市 IoT イノベーション推進コンソーシアムへの移行
→今までは IT 企業の高度化を図る会であったが、他産業を巻き込み、利用する側の企業へも参加してもらうことで、市内の IT 技術の普及を図っていく
- ・地場の企業に IT の利活用をビジネスに活かしてもらうためのセミナーや交流会を開催予定

○IT コーディネータ協会の取り組み

- ・中小企業のための IoT 導入ガイド
- ・中堅・中小企業向け IoT ツール・レシピ調査報告書
- ・共通 EDI 実証検証事業
→リーズナブルに中小企業が利用できるようなプラットフォーム作りを行う
- ・金融 EDI の実証が今年度開始していく
→BtoB におけるフィンテック技術に近いものである
- ・経営層向けの検定「日本イノベーション融合学会 ITBT 検定」を新設
→IT 先端技術知識とビジネストレンド知識全般のレベルを確認する Web 検定テスト

○今後の活動

- ・今年度は全 3 回（第 2 回：12 月、第 3 回：3 月）の定例部会を実施予定
- ・札幌イノベーションセミナーは
10 月（テーマ：健康福祉・医療）、1 月（テーマ：食）開催の予定

○IT 利活用に関する補助制度の紹介

- ・IT 利活用促進事業費補助金
→札幌市内の中小企業に、IT 利活用を行い自社の経営課題を解決してもらうことを目的としている
→IT コーディネータの派遣支援も行っており、利活用の相談などを支援する。
- ・IT 導入補助金活用のためのイベントを実施
→プラス IT フェア 2018 を開催し、IT 利活用の普及を促進させる

【研究会の様様】



多数の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。

また、本定例部会のために貴重なお話をいただきました、各講演者の皆様に心より感謝申し上げます。

ICT活用普及促進部会では、昨年度まで活動しておりました「札幌市ITイノベーション研究会」の活動内容を継承しつつ、現在の技術の革新に合わせて、IoT、ビッグデータ、AI、フィンテックなどの先進的なIT技術や、これからトレンドとなる技術について、市内のIT企業に提供するとともに、IT技術を活用したビジネスイノベーションの事例紹介&発表や相互の意見交換など、部会参加メンバーの積極的な学びとビジネス創出を促す場として活動してまいります。

様々な産業での生産性向上には、IoT、AIなどの技術が必要不可欠となっております。皆様がキープレイヤーとなり地域から新たなイノベーションを生み出されますことを期待しております。

以上